

令和8年度 第2回 静岡市立清水桜が丘高等学校学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和8年6月13日(土) 午前9時30分から午前11時30分まで
- 2 開催場所 静岡市立清水桜が丘高等学校 応接室
- 3 出席委員 志村委員、遠藤委員、堀谷委員、村山委員、岩本委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 坪井校長、江間副校長、青木教頭、古賀事務長
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 内 容

(1) 学校運営の報告

- ア 学校運営全般について 校長
イ 部活動の活動実績、校内コンプライアンス委員会に係る研修等実施計画書について 副校長

(2) 意見交換 ()内は質問に対する簡単な回答

A委員 学校運営について

校長の方針が共有され、教員の目線合わせができています。
その結果が教育活動全般や生徒の様子に表れているように感じます。

B委員 文化祭について

全体的に昨年よりも活気があります。
今風の展示や特徴的な展示が多くみられました。
地元企業との連携は、生徒や企業にとって有益である。

学校経営について

中学生の保護者が、市立高校の再編についてどのように考えているか、分析する必要があります。
中学生やその保護者が、不安を感じていると思われる。できるだけ解消してもらいたい。
教職員向けの校長通信は、教職員の目線合わせにとって効果的である。

C委員 文化祭について

活気があります。

学校運営について

市立高校の再編があるが、地元自治会は桜が丘高校に存続してもらいたい。
清水第二中学の卒業生は、桜が丘高校へ入学する生徒が多い。中学生の保護者は、今後の市立高校の再編について心配しており、それを解消する方針が必要ではないか。

D委員 文化祭について

昨年よりも活気があります。

生徒はおもてなしの心を持って来校者と接していた。社会に出た時に必要な力である。

学校運営について

市立高校の学校再編について職場で尋ねられたが、市の発表が正しく伝わっていないように感じた。

保護者に市の情報を正しく伝えること、現中学2年生向けの説明も必要だと思う。

市教育委員会への働き掛けを行うとよい。

中学3年生の保護者が、学校に求めていることをアンケートで把握することも検討してもらいたい。

教職員向けの校長通信は、教職員の目線合わせに有効である。

どのように生成AIを学校で使っているか。(教職員は研修を行い、各業務で使用している。現状では授業で生徒の使用は少ないと考えている。)

地元企業との連携は、生徒が地元企業に興味を持ち、地元に残る動機となり得るものであり、ひいては地域の活性化にも繋がる取り組みだと思う。

E委員 文化祭について

来年度のキッチンカー出店は、卒業生を予定している。

学校運営について

市立高校の再編について職場で聞かれるが、保護者に正しい情報が伝わっていないように感じる。

学校が発信する SNS は卒業生や地域の人などが見ている。

PTA として学校運営の様子を見ることができたことは、貴重であった。

ローファターの着用について見直しができるか。(検討する。)